

令和4年度第6回  
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和4年8月29日(月) 15:00～16:29
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者
- 委 員：片桐学長(議長)、川嶋副理事長、横川事務局長(理事)、三上副学長(学科長)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、香取研究科長、和田学科長、中小路情報ライブラリー長、宮本メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
- オブザーバー：安井情報デザインコース長、櫻沢複雑系コース長、川越教務委員長、新美学生委員長、佐藤(直)入試委員長
- 事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤(修)財務・研究支援課長、久保田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 編入学試験にかかる制度見直しについて

- ・ 佐藤(直)入試委員長から、資料1に基づき、編入学試験の制度見直しについて諮り、原案のとおりに了承された。なお、各学校への周知の時期と検定料について質疑があり、今後検討することとなった。

② 文部科学省からの回答依頼『我が国の学術情報流通における課題への対応について(審議まとめ)』に示された「早急に取り組むべき課題」への大学等研究機関の取組状況についての実態調査)に対する【大学等研究機関(執行部)】としての回答案について

- ・ 中小路情報ライブラリー長から、資料2に基づき、文科省からの照会の回答案について説明があった。意見交換され、原案のとおりに了承された。

(2) その他

① 次回教授会の議題について

- ・ 川越教務委員長から、次回の教授会で教務委員会からのお知らせを議題として追加する旨の報告があった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、後期授業の第1週目は、すべてオンラインでの実施を依頼する予定で、教授会の前にその旨をメールで周知することとなった。教科書販売の時期について質疑があり、確認することとなった。そのほか、卒業研究のテーマの登録依頼についても教授会でを行う予定である旨の説明があった。

② 学生についての情報共有

- ・ 和田学科長から、配慮を要する学生について情報共有があり、意見交換がされた。

- ③ 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定について
- ・ 鈴木（恵）副学長から、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定について、リテラシーレベルで承認された旨の報告があった。今後は応用基礎レベルを目指して準備を進めるため、引き続き協力依頼があった。
- ④ オープンラボの開催方法について
- ・ 川越教務委員長から、オープンラボは基本的に対面開催で、各教員の判断でオンライン開催も可能する旨、周知することについて確認があり、了承された。
- ⑤ クォーター制の導入について
- ・ 三上副学長から、当日共有資料に基づき、クォーター制の導入検討状況について情報共有があった。次回の教授会で教員へ報告をし、ワーキンググループを再編成して、今後のスケジュールや学生への周知の時期を含め、検討を続けることとなった。